

WEST

Help

Logout

Main Menu | Search Form | Result Set | Show S Numbers | Edit S Numbers

First Hit

Previous Document

Next Document

Full | Title | Citation | Front | Review | Classification | Date | Reference | Claims | KWIC

Document Number 1

Entry 1 of 1

File: JPAB

Feb 24, 1998

PUB-NO: JP410055384A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10055384 A

TITLE: RECEIPT SYSTEM

PUBN-DATE: February 24, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KUROKAWA, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

NEC CORP N/A

APPL-NO: JP08209871

APPL-DATE: August 8, 1996

INT-CL (IPC): G06F 17/60; B42D 11/00; G06F 19/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate the need for receipt paper and make it easy to generate a household account book and certify an article purchase by storing receipt information, uploaded from a store-side terminal, in receipt files by customers, and accessing the receipt files by the customers and referring to the receipt information by the customers.

SOLUTION: Identification information on a customer and receipt information which are inputted are paired and uploaded to the receipt files 3 by the customers through the Internet 2, and stored in the storage area corresponding to the identification information on the customer. When a customer wants to refer to the receipt information the customer is identified once accessing the receipt files 3 by the customers through a customer-side terminal 4, and character data of the corresponding receipt information are sent to the customer-side terminal 4. The customer terminal 4 having received the data displays the receipt information on a display and displays a request message inquiring whether a household account book is generated of the customer. Thus, receipt information is sent and received on-line.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

Main Menu | Search Form | Result Set | Show S Numbers | Edit S Numbers

First Hit

Previous Document

Next Document

Full | Title | Citation | Front | Review | Classification | Date | Reference | Claims | KWIC

Help

Logout

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-55384

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月24日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	P
B 4 2 D 11/00			B 4 2 D 11/00	K
				V
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/21	3 3 0
			15/22	L
審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)				

(21) 出願番号 特願平8-209871

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月8日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 黒川 誠

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

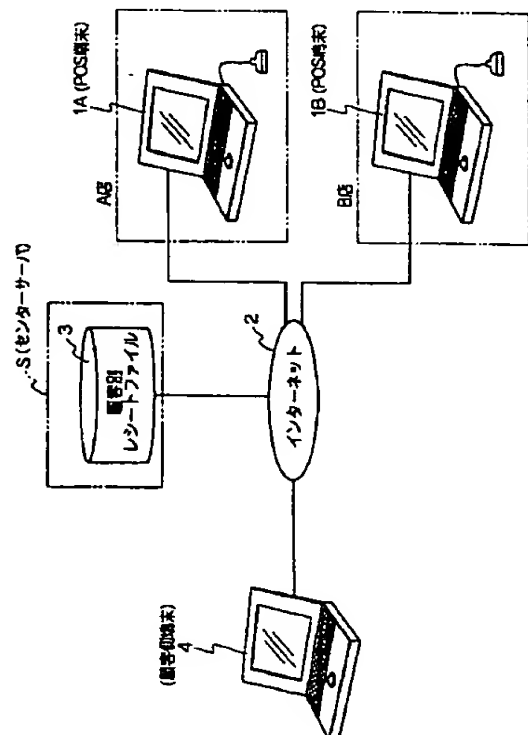
(74) 代理人 弁理士 高橋 勇

(54) 【発明の名称】 レシートシステム

(57) 【要約】

【課題】 レシート紙を不要とし家計簿の作成や商品買い上げの証明を容易にすること。

【解決手段】 入力された商品の買い上げ情報に基づいてレシート情報を生成すると共に当該顧客を識別して該顧客毎に前記レシート情報をアップロードする店側端末と、この店側端末からアップロードされたレシート情報を該顧客別に格納する顧客別レシートファイルと、この顧客別レシートファイルにアクセスして該顧客毎のレシート情報を参照可能な顧客側端末とを備えていること。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力された商品の買い上げ情報に基づいてレシート情報を生成すると共に当該顧客を識別して該顧客毎に前記レシート情報をアップロードする店側端末と、この店側端末からアップロードされたレシート情報を該顧客別に格納する顧客別レシートファイルと、この顧客別レシートファイルにアクセスして該顧客毎のレシート情報を参照可能な顧客側端末とを備えていることを特徴としたレシートシステム。

【請求項2】 前記顧客側端末が、前記顧客別レシートファイルに格納されたレシート情報に基づいて生成された家計簿データを表示する家計簿機能を備えていることを特徴とした請求項1記載のレシートシステム。

【請求項3】 前記店側端末、顧客別レシートファイル及び顧客側端末は、それぞれインターネットを介して接続されていることを特徴とした請求項1記載のレシートシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、レシートシステムに係り、特に、顧客にオンラインでレシート情報を提供するレシートシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、買い物をすると買い上げ商品の品名、価格等が表記されたレシート紙を渡される。そして、主婦はそのレシート紙を参照して家計簿を作成していた。また、商品の交換を申し出る場合は、その店で買い上げた証明としてレシートの提示を求められるのが常であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例にあっては、顧客にとってはレシート紙の管理が煩わしい不都合があり、店側にとってはレシート紙の紙代や印字代に経費がかかる不都合があった。また、レシート紙を参照しての家計簿の作成には労力を要した。更に、商品の交換を申し出たい場合でも既にレシート紙を捨ててしまっていることがあり、商品の交換が受け入れられない場合や不正な商品の交換を求められた商店が不測の不利益を被る場合もあった。

【0004】

【発明の目的】本発明は、かかる従来例の有する不都合を改善し、特に、レシート紙を不要とし家計簿の作成や商品買い上げの証明を容易にするレシートシステムの提供を、その目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の発明では、入力された商品の買い上げ情報に基づいてレシート情報を生成すると共に当該顧客を識別して該顧客毎にレシート情報をアップロードする店側端末と、この店側端末からアップロードされたレ

シート情報を該顧客別に格納する顧客別レシートファイルと、この顧客別レシートファイルにアクセスして該顧客毎のレシート情報を参照可能な顧客側端末とを備えている、という構成を採っている。

【0006】本発明では、顧客が買い物をすると、店側端末により買い上げ商品名やその価格などが明示されたレシート情報が生成され、顧客別レシートファイルにアップロードされる。アップロードされたレシート情報は顧客の識別情報を伴い、顧客別レシートファイルに顧客毎に格納される。顧客は、自宅の端末から顧客別レシートファイルにアクセスすると、先ほど買い上げた商品のレシート情報をペーパーレスでいつでも参照することができる。

【0007】請求項2記載の発明では、上記顧客側端末が、顧客別レシートファイルに格納されたレシート情報に基づいて生成された家計簿データを表示する家計簿機能を備えている、という構成を採っている。

【0008】本発明では、例えば、顧客側端末から顧客別レシートファイルにアクセスした後、顧客が望む場合には、当該レシート情報に基づいて家計簿データが自動的に作成され、顧客側端末に表示される。

【0009】請求項3記載の発明では、店側端末、顧客別レシートファイル及び顧客側端末は、それぞれインターネットを介して接続されている、という構成を採っている。本発明では、それぞれ所定の機能を有した店側端末、顧客別レシートファイル及び顧客側端末を既存のインターネットに接続するだけでレシートシステムが構成される。

【0010】これらにより、前述した目的を達成しようとするものである。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図1乃至図3に基づいて説明する。

【0012】図1のレシートシステムは、入力された商品の買い上げ情報に基づいてレシート情報を生成すると共に当該顧客を識別して該顧客毎にレシート情報をアップロードする店側端末（POS端末1A、1B）と、このPOS端末1A、1Bからアップロードされたレシート情報を該顧客別に格納する顧客別レシートファイル3と、この顧客別レシートファイル3にアクセスして該顧客毎のレシート情報を参照可能な顧客側端末4とを備えている。

【0013】これを更に詳述すると、本実施形態において、POS端末1A、1B、顧客別レシートファイル3及び顧客側端末4は、それぞれインターネット2を介して接続されている。このうち、顧客側端末4は、顧客別レシートファイル3に格納されたレシート情報に基づいて生成された家計簿データを表示する家計簿機能を備えている。

【0014】POS端末1A、1Bは、それぞれ別の店

に設置されているもので、バーコードリーダで買い上げ情報を読み取りレシート情報を生成する機能を備える。顧客の識別は、例えば代金の支払時に電子マネーカードに記録されている顧客情報を抽出して行うようにしても良い。これによると、第三者による電子マネーカードの不正使用を早期に発見できるメリットもある。また、POS端末1A、1Bには、インターネット2への接続環境が装備され、顧客別レシートファイルへのレシート情報のアップロードだけでなく、顧客別レシートファイルにアクセスしてレシート情報を参照する機能も備えている。

【0015】一方、顧客側端末4は、例えばパーソナルコンピュータであって、インターネット2への接続環境を備えている。この顧客側端末4が装備する家計簿機能は、顧客別レシートファイル3からダウンロードしたレシート情報に基づいて家計簿データを作成しディスプレイに表示させるものであり、作成した家計簿データの外部記憶媒体への記録や印刷出力も可能となっている。

【0016】また、顧客別レシートファイル3は、センターサーバSの大容量記憶装置内に構築されており、インターネット上のホームページとして複数店での共有が可能となっている。即ち、店Aで買い物したときのレシート情報も店Bで買い物したときのレシート情報も顧客毎に一括して管理されるようになっている。これによると、顧客は必要なレシート情報の参照を容易に行うことができる。もちろん、各店毎に独自の顧客別レシートファイルを持っていて、顧客が買い物をした店毎に別々のファイルにアクセスするようにしても良い。

【0017】次に、本実施形態の動作を図2乃至図3に基づいて説明する。

【0018】まず、顧客が店A又は店Bで買い物をする、レジのPOS端末で商品の買い上げ情報がバーコード入力されると共にレシート情報が生成される(ステップS1、S2)。レシート情報には、例えば商品名、商品価格、合計、買い上げ日時等が含まれる。続いて、顧客が電子マネーカードで代金を支払う際に顧客の識別情報がPOS端末に読み込まれる(ステップS3)。ここで、顧客の識別は、識別用の専用カードや識別情報のキー入力により行われても良い。その後、入力された顧客の識別情報とレシート情報が一組にされ、インターネット2を経由して顧客別レシートファイル3にアップロードされる(ステップS4)。アップロードされたレシート情報は、顧客別レシートファイル3において顧客の識別情報に対応した格納領域に保存される。ここで、出力データの形式は、それをパーソナルコンピュータ等で読みだし、そのまま数値として処理できる形式が望ましい。

【0019】顧客がレシート情報を参照したい場合は、顧客側端末4から顧客別レシートファイル3にアクセスする(ステップS11)。顧客別レシートファイル3が

アクセスされると、例えば顧客がログインしたIDから顧客の識別が行われ、対応するレシート情報のキャラクターデータが顧客側端末4に送信される。レシート情報のキャラクターデータを受信した顧客側端末4は、当該レシート情報をディスプレイ上に表示させ(ステップS12)、家計簿の作成を行うか否かのリクエストメッセージを表示させる(ステップS13)。これに対し、顧客は、キーボードを操作して家計簿の作成を行うか否かを入力する。

【0020】顧客側端末4は、家計簿の作成が要求されなかった場合は処理を終了する。一方、家計簿の作成が要求された場合には、顧客別レシートファイル3から該当するレシート情報をダウンロードし(ステップS14)、当該レシート情報を所定フォーマットの家計簿に編集してディスプレイに表示させる(ステップS15)。

【0021】ここで、家計簿編集用のレシート情報は、先に送信されたレシート情報のキャラクターデータから抽出して構成するようにしても良い。また、センターサーバSで家計簿のフォーマットが編集され、当該編集後の家計簿データが顧客側端末4に送信される構成であっても良い。

【0022】以上説明した本実施形態によれば、レシート情報をオンラインでやり取りするので、レシート紙が不要となり従来のレシート紙の扱いの煩わしさを解消できると共に、店がレシート紙に割いていた紙代及び印字代等の経費を削減することができる。また、顧客側端末での家計簿の自動生成が可能となるので、レシート紙を参照しながらの煩わしい家計簿作成作業を解消することができる。

【0023】また、顧客が商品の交換を申し出たい場合は、店側端末から顧客別レシートファイルにアクセスしてもらえば、その店で購入された商品であることが確実に証明されるので、顧客にとっても店側にとっても安全な取引を行うことができる。更に、インターネットを用いるのでシステムの構築を容易に行うことができる。

【0024】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、レシート情報をオンラインでやり取りするので、レシート紙が不要となり従来のレシート紙の扱いの煩わしさを解消できると共に、店がレシート紙に割いていた紙代及び印字代等の経費を削減することができる。

【0025】また、請求項2記載の発明では、顧客側端末での家計簿の自動生成が可能となるので、レシート紙を参照しながらの煩わしい家計簿作成作業を解消することができる。

【0026】更に、請求項3記載の発明では、インターネットを用いるのでシステムの構築を容易に行うことができる、という従来にない優れたレシートシステムを提

供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態を示すブロック図である。

【図2】店舗装置の処理の流れを示すフローチャートである。

【図3】顧客側装置の処理の流れを示すフローチャート

である。

【符号の説明】

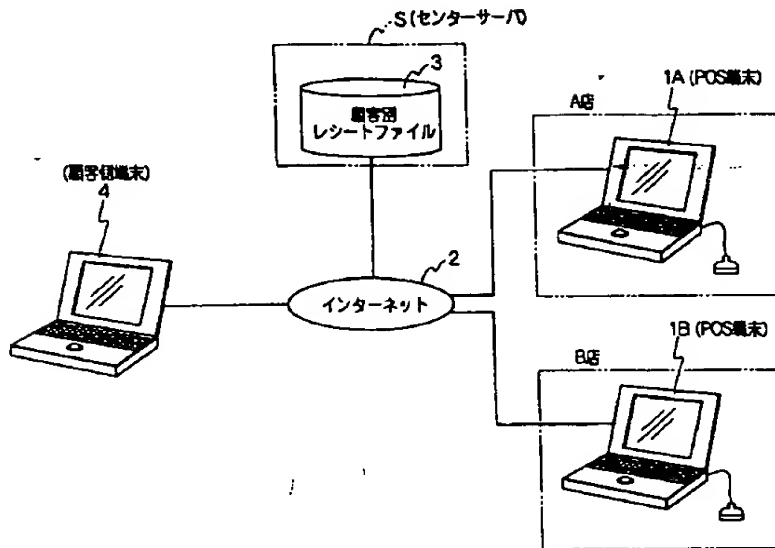
1A、1B POS端末（顧客側端末）

2 インターネット

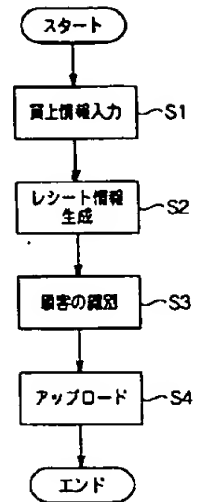
3 顧客別レシートファイル

4 顧客側端末

【図1】



【図2】



【図3】

